

5-11 東海地方東部地域におけるテレメータによる水位観測結果 (1990年) (9)

The Variation of the Groundwater Level Observed by Telemeter System in the Eastern Tokai District, Central Japan (1990) (9)

地質調査所
Geological Survey of Japan

前報(地質調査所, 1990)に引続き, 1990年分の東海地方東部におけるテレメータによる地下水位観測結果を報告する。

観測井は第1図に示すように前年と同様, 清水, 榛原及び浜岡の三地点に置かれている。観測データは2分毎に収集・処理されているが, 本報では上記3観測井における1990年1年間の1時間平均値を榛原観測井で観測された気圧・降水量と共に第2図に示す。

以下に観測結果の概要を述べる。

1) 清水観測井

例年の通り, 冬に極小, 夏に極大を示す年周変化が現れている。本年は例年より春の水位上昇が早く現れ, 秋から冬にかけての水位低下が小さい。これらの変動はすべて降水の影響と考えられる。

2) 榛原観測井

本井の水位は年周変化が清水観測井のように顕著に現われず, 気圧変化の影響を顕著に示す。第2図には気圧補正を加える前の観測値 (observed) と, 補正を加えた値 (corrected) の両者を示した。補正後の年間変動は地震時の変化を除けば, 数cmにとどまっている。

3) 浜岡観測井

本井の水位は榛原観測井ほど顕著ではないが, 気圧変化の影響を若干示し, 清水観測井とはほぼ同じ位相の年周変化を示す。気圧補正後の年間変動はほぼ30cm程度である。

4) 地震と関連する水位変動

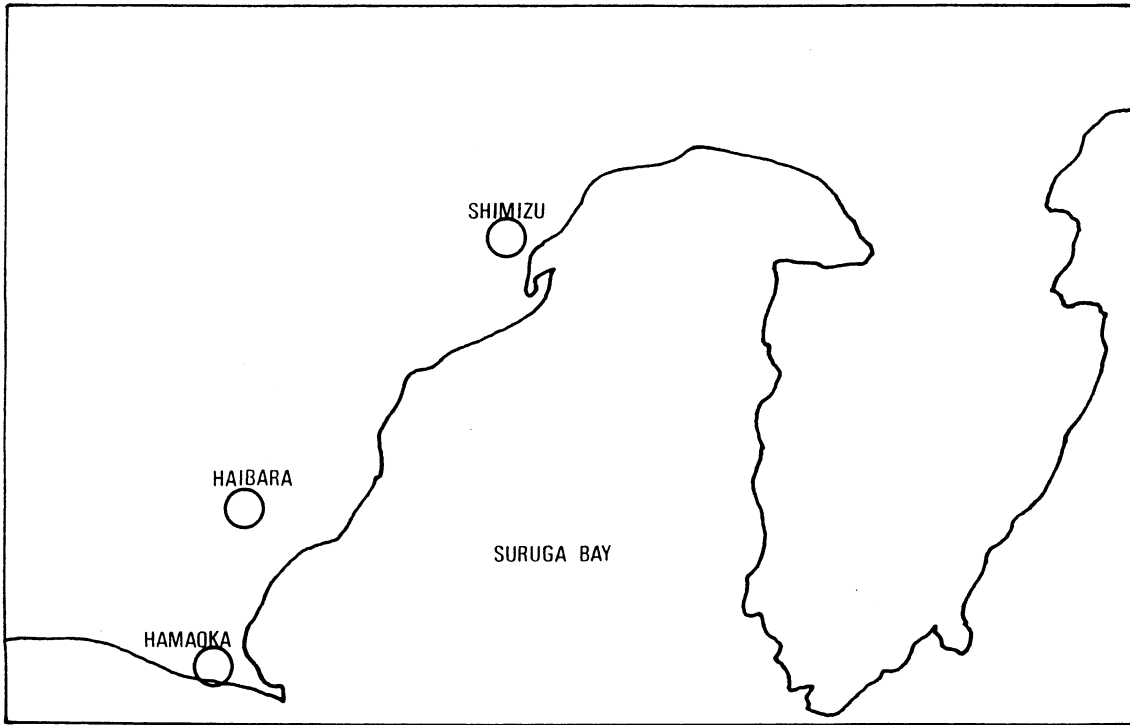
第3, 4図に示すように, 気圧, 潮汐, 降水補正後, 榛原観測井において1990年2月20日の地震後に10cm, 9月24日の地震後に1.6cmの水位低下が観測された。

(高橋 誠, 松本則夫, 野田徹郎)

参 考 文 献

1) 地質調査所: 東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果

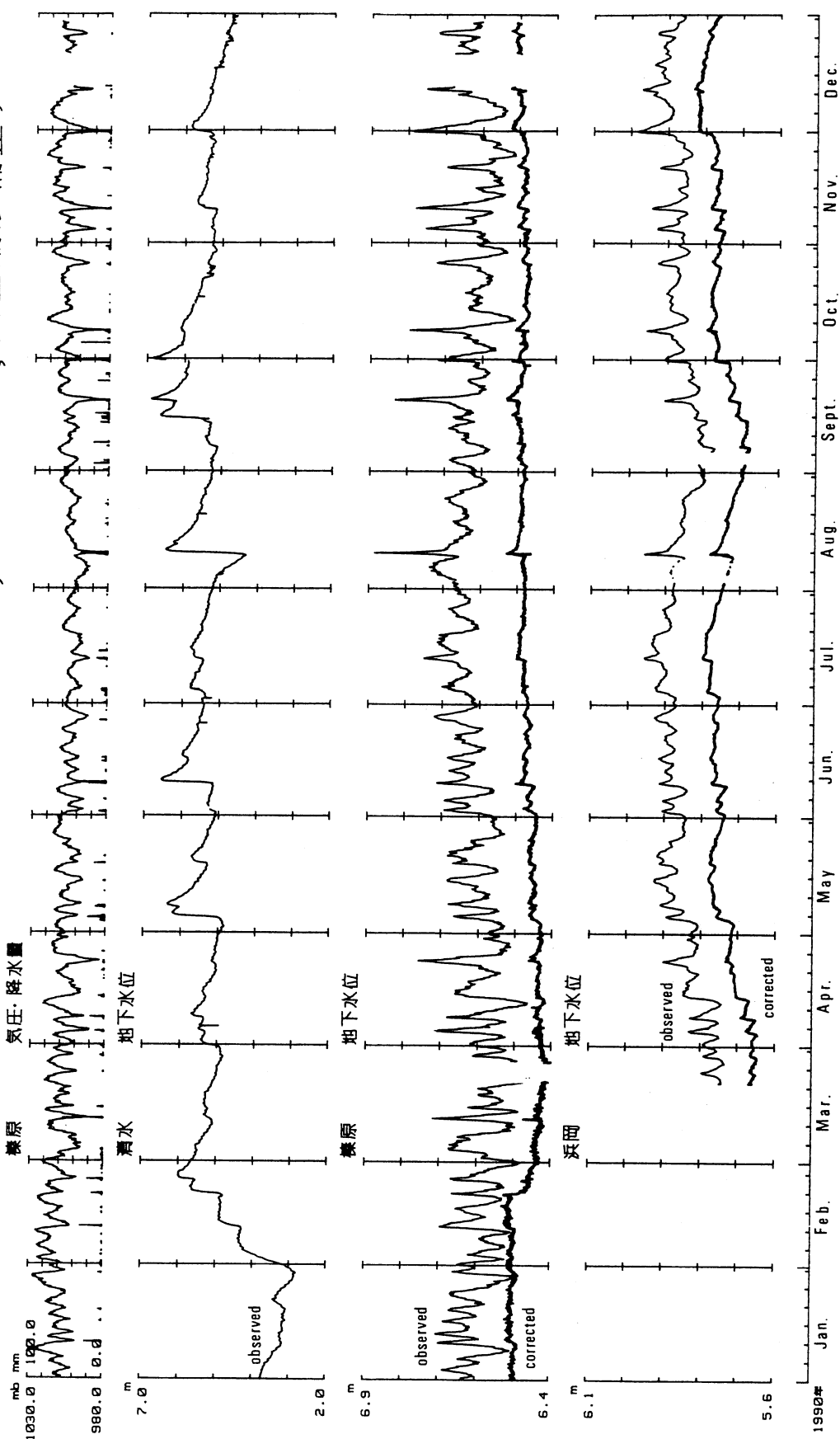
- (1) 連絡会報, 30(1983), 263-270.
- (2) 連絡会報, 32(1984), 266-269.
- (3) 連絡会報, 34(1985), 317-320.
- (4) 連絡会報, 36(1986), 292-295.
- (5) 連絡会報, 38(1987), 384-387.
- (6) 連絡会報, 40(1988), 310-313.
- (7) 連絡会報, 42(1989), 296-298.
- (8) 連絡会報, 44(1990), 273-276.



第 1 図 東海地方東部地域地下水位観測井位置

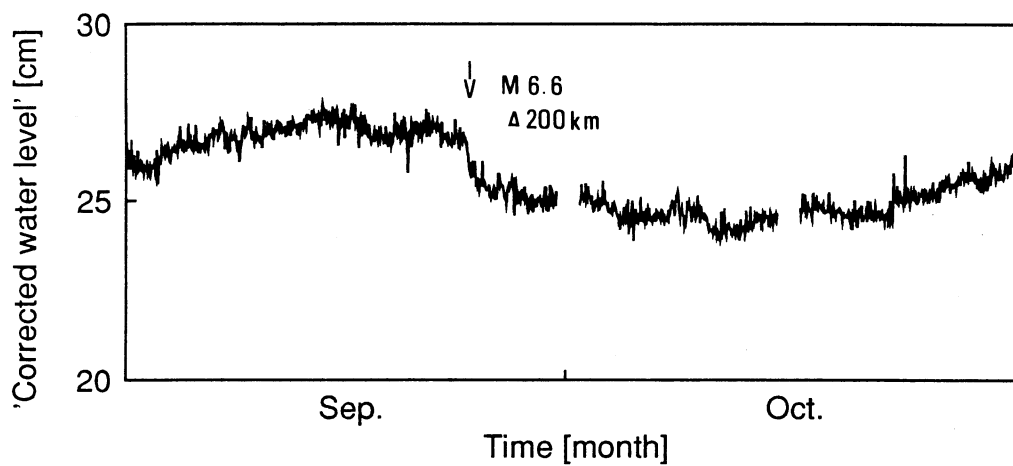
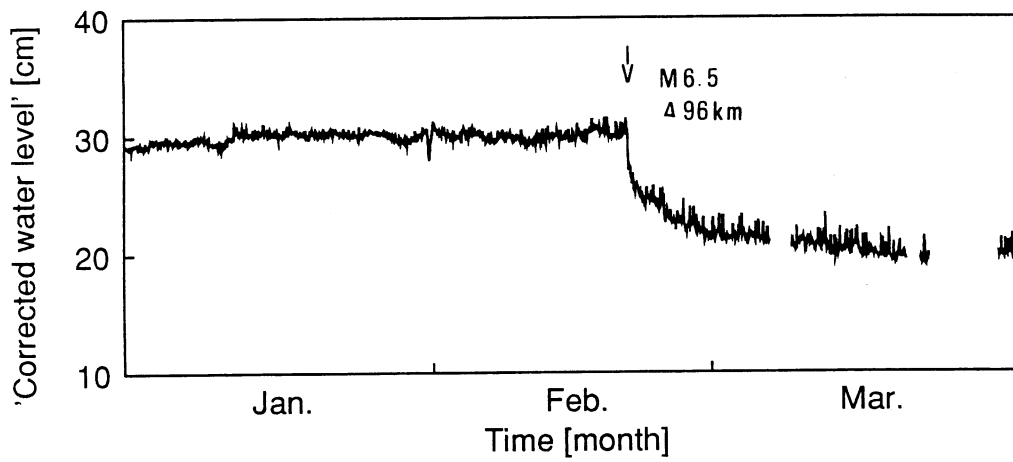
Fig. 1 Locality of the groundwater observation sites.

東海地域地下水観測結果(1990年1月~12月,時間平均値,気圧潮汐補正)



第2図 東海地域地下水観測結果(1990年)(1時間平均値)

Fig. 2 Variation of the groundwater level at three observation sites in 1990.



第3図 榛原観測井における地震に伴う地下水位変化（1990年2月，9月）

Fig. 3 Co-seismic changes of the groundwater level at Haibara observation site on February 20 and September 24 in 1990.